

編集後記

初めて歯学部ニュースの編集作業を編集長として担当いたしました。ご多忙中にもかかわらず、原稿をご執筆下さりました教職員、学生の皆様には、心よりお礼を申し上げます。これまでは読んで、楽しむ立場でしたが、一冊の歯学部ニュースが、多くの方々の協力で作られているということを実感いたしました。今回の編集を通して、学部や病院そして教職員や学生の活動を改めて認識することができました。とりわけ、本号の学会受賞報告からは、新潟大学歯学部における研究活動の高いアクティビティーが伺えます。そして、編集にあたり、多大なご尽力をいただいた魚島教授、吉田事務室長および編集委員の諸先生方には、編集長として心より感謝申し上げます。

口腔生理学分野 北川 純一

今回、「学会受賞報告」、「素顔拝見」ならびに「医歯学祭を終えて」の編集を担当させていただきました。原稿の執筆を快く引き受けていただいた皆さまに感謝申し上げますとともに、「学会受賞報告」と「素顔拝見」の執筆者の先生がたを選定するにあたってご協力いただきました、各分野の長、医局長ならびに事務の人事担当・水谷さんにも御礼申し上げます。今回は「学会受賞報告」の件数がこれまでの号の2～3倍あったにもかかわらず、以前に編集を担当したときよりも、一連の作業が円滑に進んだように感じました。執筆者の皆さまに締切をまもっていただいたおかげだと思えます。誠にありがとうございました。

生体材料学分野 金谷 貢

今回の歯学部ニュースでは、「歯学部2年生開始から大学院修了まで」の、学生の皆さんを担当いたしました。原稿からは、医療人としてたくましく成長していく様子をうかがうことができ、こちらが励まされる思いです。大学院生の皆さんも、原稿依頼にご快諾してくださいました。充実した研究生生活を支えてくださった方々への感謝の思いを伝えなかったのでしょうか……。書き終えた原稿をお持ちくださった時の、晴れ晴れとした姿が印象的でした。原稿のとりまとめには、5年生が活躍してくれました。そのリーダーシップを今後も存分に発揮してください。

最後になりましたが、突然のお願いにもかかわらず、原稿執筆に奮闘してくださった皆様に、改めまして御礼申し上げます。

う蝕学分野 吉羽 永子

初めて歯学部ニュースの編集委員を担当させていただきました。快く原稿依頼をお引き受けいただいた諸先生、職員、学生の皆さんにあらためて御礼申し上げます。担当した原稿はどれも素晴らしく、皆様にお届けする前に楽しませていただいたことは、編集委員の特権かなと思っています。職員の方の原稿には、その仕事に対する熱意を感じ、自分が経験しなかった研修医制度の経験談は、その有効性がよくわかり、どの原稿も大変興味深かったです。最後に、編集責任者の北川先生には、訳の分からない編集委員がスムーズに仕事ができるようご配慮いただき誠にありがとうございました。

歯科矯正学分野 渡邊 直子

この度初めて歯学部ニュースの編集を担当させていただきました。過去に何度か原稿を依頼されたときは正直面倒だと感じていた面もあったので、編集委員として逆の立場になり依頼をする際には少し申し訳ないような気持ちもありました。しかし、皆様年度末の忙しい時期にもかかわらず、快くご寄稿いただき本当に感謝しております。また、今回担当させていただいたのが次の世代を担う学生さん達の活動でした。自分たちの頃と比べて、活躍の場が国内外を問わず広がっていることを驚くとともにうらやましく思いました。これから機会のある学生さんは積極的に参加してみたいかがでしょうか。その際はぜひ歯学部ニュースに掲載されている先輩の体験記を参考にしてください。

予防歯科学分野 濃野 要